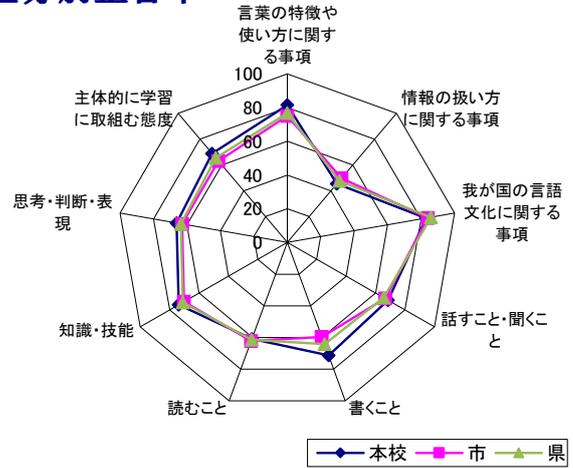


# 宇都宮市立桜小学校 第4学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	81.5	75.1	76.7
	情報の扱い方に関する事項	45.4	49.6	47.8
	我が国の言語文化に関する事項	83.0	84.0	85.9
	話すこと・聞くこと	68.5	66.5	65.5
	書くこと	71.3	59.6	64.2
	読むこと	61.0	62.2	61.5
観点	知識・技能	73.9	70.2	71.1
	思考・判断・表現	66.2	62.9	63.6
	主体的に学習に取り組む態度	68.9	63.0	65.5



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○ほとんどの項目で、県・市の平均正答率を上回っている。特に、段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く問題では、県の平均正答率49.8%、市の平均正答率44.5%と比較して、本校は72.3%と大きく上回った。 ●主語と述語の関係についての理解は、県・市の正答率をやや下回った。	・漢字の読み書きについては、今後も引き続き、朝の学習や宿題等で繰り返し練習し、定着を図るよう指導していく。 ・物語や説明文の内容を読み取る学習において、主語と述語の関係に着目しながら、文章の組み立てを理解させる。
情報の扱い方に関する事項	○説明文を読んで、中心となる語や文を見つけて抜き出す問題では、県の平均正答率55.4%、市の平均正答率56.9%と比較して、本校は57.4%とやや上回った。 ●国語辞典の使い方の理解では、県・市の平均正答率をやや下回った。	・今後も、説明文を読み進める中で、繰り返し出てくる語や大切だと思う文章に線を引くなどして、整理しながら分の要旨を読み取るよう指導する。 ・単元の漢字の学習や意味調べなどで、辞書を引くことを習慣化し、国語辞典の使い方を定着させるよう、意図的・計画的に指導していく。
我が国の言語文化に関する事項	●漢字のへんやつくりを理解しているかを問う問題では、県の平均正答率85.9%、市の平均正答率84.0%と比較して、本校は83.0%とやや下回った。	・新出漢字を学習する際に、へんやつくりが同じ漢字を集めるなどして、へんやつくりの関係について理解が深まるような学習指導を心掛ける。
話すこと・聞くこと	○話し合いの内容を聞いて話し手の工夫を捉える問題では、県の平均正答率80.0%、市の平均正答率82.1%と比較して、本校は89.4%と上回った。 ○自分の考えを、理由を挙げながら相手に伝える問題では、県・市が7割を下回るのに対して、本校の正答率は74.5%であった。 ●話し合いの様子から、話し手が伝えたいことの中心を捉える問題では、市の平均正答率より8.8%下回り、3割に満たなかった。	・今後も、日常生活の中で、自分の考えを相手に伝えるための工夫について継続的に指導していく。 ・登場人物が複数いる場合でも、誰が何を伝えようとしているのかを整理しながら読み進めるよう指導する。
書くこと	○すべての項目で、県・市の平均正答率と同等か、それを上回る結果となった。7割以上の児童が、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができています。	・自分の考えを明確にし、それを支える理由や事例を整理して、段落構成を意識しながら書くことを、今後も継続して指導していく。
読むこと	○物語を読んで、登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉える問題では、県の平均正答率77.8%、市の平均正答率79.3%と比較して、本校は83.0%と上回った。 ●説明文を読んで、叙述を基に段落の内容を捉える問題では、県の平均正答率67.5%、市の平均正答率65.8%と比較して、本校は61.7%と下回った。	・物語の読み取りでは、登場人物の気持ちや、場面の様子を表す言葉に注目しながら、登場人物の心情や物語の情景等を捉え、読みを深めることができるよう指導を継続する。 ・説明文の読み取りでは、事柄の内容や説明の順序などに気を付けながら、意味段落を意識し、丁寧に読み進めるよう指導する。